

URL [https:// kenren.miyagi.coop/](https://kenren.miyagi.coop/)

県連速報

●発信元
宮城県生活協同組合連合会
●責任者 石川 宣子
●TEL 022-276-5162
●FAX 022-276-5160
●2025.11.17
第730号
(2025年度：19号)

●11月13日（木）、宮城県に対して「灯油価格の抑制及び安定供給に向けた行政の役割強化を求める要請書」を提出しました。

11月13日（木）、宮城県知事あての「灯油価格の抑制及び安定供給に向けた行政の役割強化を求める要請書」を環境生活部消費生活・文化課の遠藤尚志課長に、みやぎ生活協同組合の河野雪子副理事長が提出しました。

生協連からの要望として、宮城県の冬の主力エネルギーである配達灯油の小売価格が2,300円/18ℓ（缶）を超える高値となっていること、灯油利用がさらに増える時期を迎え、これ以上の値上がりは家計への大きな負担となることから、価格の抑制と安定供給のための必要な行政施策を取ることを要請しました。

また、生活弱者や年金生活者などに対して、生活に不可欠な灯油購入を支援するための「福祉灯油助成制度」が宮城県内のすべての自治体で導入されるよう市町村へ働きかけること、県民の暮らしに最も近い行政として国の政策のみならず、高騰するエネルギー価格、物価高に対して県独自の支援策を講じることを要望しました。

その後の意見交換では、参加されたみやぎ生協の理事から郡部だけでなく都市部でもガソリンスタンドが減っており、灯油配達に頼らざるを得ない人たちにとって灯油の確実な入手が難しくなっていること、ガソリンの暫定税率は廃止の方向で進んでいるが、生活支援が必要な世帯は車を持っていないことも多くその恩恵を受けられないことも考えられる、支援が必要な人へきめ細やかな支援をして欲しい等、各地域の実情を伝えました。

県からは灯油の量の確保と価格抑制に対応するために石油元売り各社へ協力を依頼していること、石油・石油製品の価格動向を監視し、HP上で公表を行っていること、国の情報を把握しながら市町村と協力し必要な支援策をとっていくことが報告されました。

正式な回答については、後日文書で行うとの話がありました。（要請書後掲）



要請書の提出：
遠藤尚志課長(右)と
河野雪子副理事長(左)

◆要請行動参加者

宮城県	環境生活部消費生活・文化課：遠藤尚志課長、横谷智江主幹（消費者行政班長）、 日下部巧消費者行政班主査 保健福祉部社会福祉課：山田賀子副参事兼総括課長補佐、 二瓶幸浩課長補佐（生活自立・支援班長）
生協連	みやぎ生協：河野雪子副理事長、小川浩美地域代表理事、菊地由香里地域代表理事、 佐藤淑子地域代表理事、目黒純栄地域代表理事 宮城県生協連：石川宣子常務理事、佐々木ゆかり事務局長、稲葉勝美事務局次長 日本生協連北海道・東北地連：蛭田啓事務局員、山田洋平事務局員

【取材マスコミ】河北新報、燃料油脂新聞、ミヤギテレビ、東日本放送